

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類		主要な道路の整備		事業名		県単道路改築										
市町村名		飯田市		ふりがな 箇所名 いち たなか みだれぼしせん (一) 田中乱橋線		はこがわ 箱川		事業年度 (完了年度は見込み)		26年度～ 29年度						
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)									
	全体	道路拡幅工 L=250m W=5.5(7.0)m			80,000				国庫		その他		県債		一般財源	
	H26年度	地形測量 1式			1,500								1,350		150	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価区分				①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)					
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/>	4,000台/日以上	<input type="checkbox"/>	1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/>	1,500台未満	0	0.3	14					
		代替道路	<input type="checkbox"/>	唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/>	代替となる道路がある			0							
		ネットワーク (道路網)	<input type="checkbox"/>	バス路線である	<input checked="" type="checkbox"/>	駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input type="checkbox"/>	左記に該当しない	10							
			<input checked="" type="checkbox"/>	ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/>	ボトルネック箇所 でない			10							
			<input checked="" type="checkbox"/>	観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/>	観光地に通じる道路 ではない			20							
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	<input type="checkbox"/>	4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input checked="" type="checkbox"/>	4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input type="checkbox"/>	5.5m以上(幅員)	5							
	<input type="checkbox"/>		自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る	<input type="checkbox"/>	歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	0								
	小計									45						
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/>	環境・景観配慮が され確実性が高い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮が されているが確実性 が低い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮をして いない	50	0.1	8					
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/>	緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/>	緊急輸送路(2次)又は、 振興山村、積雪地域、 過疎地域、地震防災 対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定 地域に位置付けられて いる	<input type="checkbox"/>	特別な位置づけは ない	30								
小計									80							
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果を得られる)	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	15						
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input type="checkbox"/>	事業年数 3年以内	<input checked="" type="checkbox"/>	事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/>	事業年数 6年以上	25								
	コスト削減	<input type="checkbox"/>	全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/>	コスト削減はしていない	25								
	小計										75					
緊急性	安全性の向上	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input checked="" type="checkbox"/>	交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の 危険がない	30	0.2	12						
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携に 関係ない道路	30								
	小計										60					
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/>	市町村からの要望	<input type="checkbox"/>	特に要望がない	35	0.2	16						
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/>	広く一般に周知	<input checked="" type="checkbox"/>	関係者中心に周知	<input type="checkbox"/>	特に周知していない	25								
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/>	住民が計画策定に 直接参加	<input checked="" type="checkbox"/>	住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/>	特に住民意見は反映 していない	20								
	小計										80					
費用対効果(B/C)		1.4			評価の合計						65					
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	飯田山本インターからR153、市道を経由して当県道を利用する道路ネットワークとして、当該区間のボトルネック解消の要望が出ている。														
	地域からの要望経緯	H25.6.13県道田中乱橋線改良促進期成同盟会。H25.10.7飯田市、まちづくり委員会による所長提言あり。														
	事業説明等の経緯	事業要望にあたり、飯田市と情報共有を行い、地元の合意形成等の状況を把握する。														
	環境・景観への配慮 項目	土羽構造を多用し、法面植生により景観に配慮する。														
	他事業・プロジェクトと の関連	特になし。														
	特記事項															
地域の合意形成		<input type="checkbox"/>	全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/>	概ね賛成	<input type="checkbox"/>	過半数賛成	<input type="checkbox"/>	動向不明							
部意見	地元要望が強く、生活道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度から事業化したい。				行政改革課 意見	重要性が認められる。										